

## 交通安全プロジェクト ～人の命の大切さを見直そう～

学年・教科	第1学年・総合的な学習の時間
単元名	安全・防災教育
学習テーマ	地域の人々を事故や災害から守るために
関連SDGs	11 住み続けられるまちづくりを

### 単元情報

#### (1) 単元計画の概要

本校では学校教育目標を「他者や郷土を大切に、自ら進んで学び、何事にも一生懸命に取り組む生徒の育成」とし、「人のためになる行動」を合言葉に様々な教育活動に取り組んでいる。

そこで、第1学年においては「身近な人々の命を守るためにどんな行動ができるか」をテーマとし、安全・防災教育に取り組む単元を設定した。自然災害、犯罪、疫病など、我々の身の回りには命を脅かす事象が数多くあるが、それぞれについて生徒自身が身近な人々のためにできることを出し合い、最終的な活動目標を生徒自身で決定させたい。また、防災・防犯に関する情報収集を行う中で、最新の知識を身に付けさせるとともに、様々な自治体の取組等について理解を深めさせ、それらの知識を活用した効果的な活動の実践や独創性のある成果物の作成を目指していきたい。

#### (2) 育成したい21世紀型スキル（資質・能力）

##### 【自発性と主体的な自己管理】

- ・基本的な知識・スキルの習得やカリキュラムの終了で満足することなく、より専門的な知識、スキルの獲得のために、自ら学びの可能性を広げる。
- ・直接的な指導がなくても、課題設定、優先順位の設定、課題解決を行う。

##### 【創造性と革新性】

- ・独創性と創作力を発揮する。
- ・新しいアイデアを出し合い、実践し、仲間と共有する。

#### (3) 単元の目標

交通安全に関する啓発活動を通して、交通安全・事故防止に関する最新の知識を身に付けさせるとともに、安全なまちづくりのために自分たちにできることを協働的に探し求めながら、自発的に課題発見・解決学習を行うことができるようになる。

#### (4) 他の単元との関連

- ・保健体育科「健康な生活と疾病の予防」（1学期）
- ・学校行事 「交通安全教室」（4月）、「防犯教室」（各学期末）、「避難訓練」（12月）
- ・社会科 「世界の諸地域」（6月～11月）
- ・道徳科 「山に来る資格がない」（7月）

## 生徒の実態

### (1) 学級（学年）の雰囲気

本学級の生徒は明るく活発であり、男女分け隔てなく活動することができる。学習面においても C 層の割合は少なく、生活状況も落ち着いているように思う。小学校から地域の特色について体験的に学習してきており、地域の発展にさらにかかわっていきたいという思いを持っている。

### (2) 資質・能力に係る状況

5月に実施した生徒アンケートにおける「学校行事や生徒会活動に積極的に関わっています」という項目の肯定的評価の割合は、全校生徒が 85.0%であるのに対して、1年生は 73.0%であった。入学して間もない時期であり、自発的に活動する経験の少なさが原因であると考えられる。

また、同アンケートにおける「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができます」という項目の肯定的評価の割合は、全校生徒 90.7%に対して 89.2%であり、協働的な学習は普段から意識的に行うことができている生徒が多い。

## 単元指針

### (1) プロジェクト型アプローチの視点

- ①「命を守るために」という答えのない問いを設定する。
- ②事故・災害・病気など、命を脅かす恐れのある身近な課題について扱う。
- ③安全啓発のための広報活動やポスター等の作成・設置により社会に貢献する。

### (2) 評価規準

【知識・技能】	【思考・表現・判断】	【主体的に学習に取り組む態度】
①防災・防犯に関する最新の知識や、様々な自治体の取組等についてより専門的に理解している。 <b>（自発性と主体的な自己管理）</b> ②ICT 機器を活用して、情報の収集、文書やスライドの作成、動画の編集等ができる。 ③防災・防犯について探究してきたことを通して、自分たちの行動が身近な人の命を守ることに大きく関わっていくことを理解している。	①ブレインストーミング等を用いた交流を通して、自発的に課題を設定することができる。 ②必要な情報を幅広く効率的に収集することができる。 ③ブレインストーミング等を効果的に活用し、収集した情報をもとに革新的なアイデアを生み出そうとしている。 <b>（創造性と革新性）</b> ④相手や目的に応じて効果的な表現をすることができる。	①直接的な指導がなくても、課題設定、優先順位の設定、課題解決を行うことができる。 <b>（自発性と主体的な自己管理）</b> ②自らの意見や考えを持ち、他者の意見も尊重しながらより良い方法を検討しようとしている。 <b>（創造性と革新性）</b> ③自分たちが身近な人の命を守るためにできることを考え、具体的に行動に移そうとしている。

### (3) 質問

本質的な問い	「人のためになる行動」って何だろう。
単元を貫く問い	身近な人の命を守るために、自分たちができる行動は何だろう。

個別の問い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちの命を脅かす危険にはどんなものがあるだろう。</li> <li>・身近な人の命を守るために自分たちにできることは何だろう。</li> <li>・地域の事故を減らすためには、どんな活動が有効だろう。</li> <li>・プロジェクトを進行するための組織作りとは？</li> <li>・校区の危険な場所はどこだろう。</li> <li>・危険な場所をどうすればいいだろうか。</li> <li>・第2回校区探索をどのように使うのか。</li> <li>・具体的な設置方法や交渉の内容はどのようにするか。</li> <li>・プロジェクト完遂に向けて、改善すべき部分はどこか。</li> <li>・改善点を修正するためにどのようにすればよいか。</li> <li>・今回のプロジェクトの成果と課題はなんだろう。</li> </ul>
-------	--

## 学習活動の構想

学習段階	学習活動 (Q 内容質問 ・ 生徒の活動)	評価		教材および ICT 活用
		評価規準	評価方法	
第1回 課題設定 (1時間)	<b>Q 私たちの命を脅かす危険にはどんなものがあるだろう。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちの命を脅かす危険についてブレインストーミングを行う。</li> </ul>	<b>【思①】</b> ブレインストーミング等を用いた交流を通して、自発的に課題を設定することができる。	Jamboard	Jamboard
第2回 課題設定 (1時間)	<b>Q 身近な人の命を守るために自分たちにできることは何だろう。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に交流したことをもとに、班ごとにプロジェクトテーマ(案)を作成、発表する。</li> </ul>		Google スライド  自己評価シート	Google スライド 検索エンジン
第3回 課題設定 (1時間)	<b>Q 地域の事故を減らすためには、どんな活動が有効だろう。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクトテーマに係る最終目標を学級で話し合い、共有する。</li> </ul>	<b>【主①】</b> 直接的な指導がなくても、課題設定、優先順位の設定、課題解決を行うことができる。(自発性と主体的な自己管理)	自己評価シート	Google ドキュメント
第4回 情報収集 (1時間)	<b>Q プロジェクトを進行するための組織作りとは？</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマごとのチームに分かれ、その中で仕事内容別の「部署」とその部長、全体のプロジェクトリーダーを決める。</li> <li>・総務・企画部を中心に「企画書」を作成する。</li> <li>・部署ごとに必要な情報を収集する。</li> </ul>		<b>【知①】</b> 防災・防犯に関する最新の知識や、様々な自治体の取組等についてより専門的に理解している。 (自発性と主体的な自己管理)	自己評価シート

第5回 情報収集 (1時間)	<b>Q 校区の危険な場所はどこだろう。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チームごとに活動目標を設定する。</li> <li>・GoogleEarthを使い、校区の危険な場所を探索する。</li> <li>・次回の校区探索に向け、「出張届」を作成する。</li> </ul>	<b>【知②】</b> ICT 機器を活用して、情報の収集、文書やスライドの作成、動画の編集等ができる。	行動観察	GoogleEarth 大型モニター
第6回 情報収集 (2時間)	<b>《第1回校区内探索》</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3グループに分かれ、校区内の危険個所を探索する。</li> <li>・現地調査を行い、写真を撮影する。</li> <li>・調査結果をもとに、次回以降の活動内容を検討する。</li> </ul>	<b>【思②】</b> 必要な情報を幅広く効率的に収集することができる。	自己評価シート	デジタルカメラ 大型モニター
第7回 整理・分析 (2時間)	<b>Q 危険な場所をどうするか？</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の探索で得た情報を基に、今後の活動方針を決定し、部署ごとに役割分担を行う。</li> <li>・各部署で作業を行う。</li> </ul>	<b>【主③】</b> 自らの意見や考えを持ち、他者の意見も尊重しながらより良い方法を検討しようとしている。 (創造性と革新性)	自己評価シート 行動観察	
第8回 整理・分析 (2時間)	<b>Q 第2回校区内探索をどのように使うのか？</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回校区内探索に向けての企画書を作成する。</li> <li>・ポスターや横断旗の作成を行う。</li> </ul>	<b>【思③】</b> ブレインストーミング等を効果的に活用し、収集した情報をもとに革新的なアイデアを生み出そうとしている。 (創造性と革新性)	自己評価シート	Google ドキュメント
第9回 整理・分析 (2時間)	<b>Q 具体的な設置方法や交渉の内容はどのようにするか。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総務企画部は第2回校区内探索がスムーズに進むよう、役割分担と仕事内容を整理し、各部署に伝える。また、出張届を作成する。</li> <li>・広報部は警察や関連店舗への交渉内容を整理する。</li> <li>・制作部は試作品の作成をする。</li> </ul>	<b>【思④】</b> 相手や目的に応じて効果的な表現をすることができる。	自己評価シート 行動観察	
第10回 整理・分析 (2時間)	<b>《第2回校区内探索》</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世羅警察署、セブンイレブン、甲山小、せらひがし小等の場所に分かれ、設置の許可を取りに行く。</li> <li>・設置予定場所に試作品を持って行き、具体的な設置方法を考える。</li> </ul>			デジタルカメラ

第11回 整理・分析 (1時間)	<b>Q プロジェクト完遂に向けて、改善すべき部分はどこか。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>第2回校区内探索での成果を共有する。</li> <li>プロジェクトの完遂に向けて課題点を整理する。</li> </ul>	<b>【主①】</b> 直接的な指導がなくても、課題設定、優先順位の設定、課題解決を行うことができる。(自発性と主体的な自己管理)	自己評価シート	Jamboard等
第12回 まとめ・表現 (4時間)	<b>Q 改善点を修正するためにどのようにすればよいか。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>試作品を修正し、実際に設置する横断旗やポスターを完成させる。</li> <li>効果をどのように検証するかを考える。</li> </ul>	<b>【主②】</b> 自らの意見や考えを持ち、他者の意見も尊重しながらより良い方法を検討しようとしている。(創造性と革新性)	自己評価シート	
第13回 実行 (2時間)	≪第3回校区内探索≫ <ul style="list-style-type: none"> <li>作成した横断旗やポスターを設置する。</li> <li>※次回の学習までに効果を検証するための方法も検討しておく。</li> </ul>	<b>【主③】</b> 自分たちが身近な人の命を守るためにできることを考え、具体的に行動に移そうとしている。	自己評価シート	
第14回 振り返り (2時間)	<b>Q 今回のプロジェクトの成果と課題はなんだろう？</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>検証結果をもとに、今回のプロジェクトの成果と課題を整理する。</li> <li>今回のプロジェクトを通して学んだこと、今後に生かしたいことを振り返る。</li> </ul>	<b>【知③】</b> 防災・防犯について探究してきたことを通して、自分たちの行動が身近な人の命を守ることに大きく関わっていくことを理解している。	Jamboard  自己評価シート	Jamboard

## 本時の学習内容

学習段階	学習活動 (Q 主な発問 ・ 生徒の活動)	教師の動き (指導上の留意点)	評価規準 (評価方法)
導入 (5分)	<b>Q プロジェクト完遂に向けて、改善すべき部分はどこか。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>Jamboard を用いてブレインストーミングを行う。</li> </ul> <div style="border: 1px solid #000080; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;予想される生徒の反応&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>旗の形状はこのままでいいだろうか。</li> <li>小学生への交通安全指導はどんなふうにしよう。</li> <li>ポスターの大きさや内容はどうしよう。</li> </ul> </div>	展開部で話し合うための視点や方向性をブレインストーミングで決めさせる。	

<p>展開 (30分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2回校区内探索の課題点や修正点を各グループで話し合う。</li> </ul> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;予想される生徒の反応&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>旗の形状やデザインを変えてはどうだろうか。</li> <li>ポスターや旗を置く場所や設置の仕方を具体的に決めておこう。</li> <li>小学生や地域の人により伝わる表現にするにはどうすればいいだろう。</li> </ul> </div>	<p>次時以降に活動するための修正点や第3回校区内探索までにやるべきことを話し合わせる。各グループの部署ごとにやるべき仕事を明確に示させる。</p>	
<p>まとめ (10分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各グループの部署ごとに第3回校区内探索までにやるべきことを発表する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>活動日誌を活用し、次回以降の課題を自分たちで決定し、記録できる。</li> <li>ゴールをイメージし、現状の進捗状況を踏まえたうえでの課題設定ができる。</li> </ul> </div>	<p>修正した点や新たに増えたことなどを、理由を付けて説明させる。</p>	<p>【主①】直接的な指導がなくても、課題設定、優先順位の設定、課題解決を行うことができる。(自発性と主体的な自己管理)</p>

## 評価ツール

### 【資質・能力の自己評価用ルーブリック】

#### ①自発性と主体的な自己管理

S	A	B	C
新たな課題の設定や優先順位の設定を自ら行い、活動することができる。	活動方法や内容を自ら提案し、活動することができる。	指示がなくても自分ができることを考え、活動することができる。	先生や友達の指示通りに活動することができる。

#### ②創造性と革新性

S	A	B	C
革新的なアイデアを具体的に実現することができる。	新しいアイデアを生み出したり、新たなものを創作したりすることができる。	仲間とアイデアを出し合い、共有することができる。	仲間のアイデアを受け入れる姿勢をもっている。